

## 令和2年第1回逗子市財政再建検討会議事概要

- ◎日 時 令和2年11月16日(月) 午後5時～6時21分  
◎場 所 逗子市役所5階会議室  
◎出席者 山科氏、畠中氏、玄氏、菊池氏、筒井氏(オンライン参加)  
桐ヶ谷市長、柏村副市長  
◎事務局 経営企画部 福井、福本 企画課 仁科、四宮、金子、山口  
◎記 録 企画課 金子  
◎傍聴者 0名

- ◎配付資料 令和2年度第1回逗子市財政再建検討会議 次第  
【資料1】逗子市ふるさと納税受入額推移  
【資料2】助成制度ちらし案7月1日以降  
【資料3】プレミアム付き商品券のチラシ  
【資料4】ワーケーション推進の取り組み  
【資料5】ワーケーションチラシ(商工会会報誌用)

### ◎議 事

#### 1 開会

市長挨拶

#### 2 これまでの状況報告について

(1) ふるさと納税について及び(2)空き家について

・事務局(仁科)より【資料1】逗子市ふるさと納税受入額推移及び【資料2】助成制度ちらし案7月1日以降をもとに報告

(意見交換)

【山科氏】空き家について、登録してある物件を知りたい場合はどのように知ることができるか。また、登録件数は何件になっているか。

【事務局(仁科)】空き家バンクに登録してある物件は、市のホームページで確認いただける。累計登録件数は、活用したい方が70件、所有者が物件登録している件数は18件となっている。また、活用が決定したものは、ホームページから掲載情報を落としていくので、現時点で18件全てが掲載されている訳ではない。

【市長】今年度からパブリックサービスが市民貢献事業として、空き家提供者に対し20万円、空き家活用者に対して30万円の助成を行っている。この取り組みにより空き家バン

ク活用の動機付けになっていると実感したので、パブリックサービスには、引き続きこの取り組みを継続してもらいたい。

【菊池氏】空き家バンクについて、知り合いに紹介したところ、実際に提供者として登録した。この空き家の活用事例は広報ずしに掲載される予定である。9月から10月に空き家の掃除等を逗子アートフェスティバルと連携し実施した。最終的な利用者はまだ決定していないが、コミュニティスペースとして利用したい方が3人来ている状況である。空き家については、活用事例を目に見えるかたちにするが良い。また、空き家予防セミナーについて、地域では発信されているが、逗子市からは何も情報が発信されていないが、市はどのように関わっているか。一部の地域だけではなく、各地域へ広がっていくためにも情報発信をして活用を促進していくべきではないか。

【事務局（福本）】空き家予防セミナーの今年度の動きは確認できていないが、昨年度については、市が後援等を行っている。もともとグリーンヒル自治会を対象地区に始まっており、グリーンヒルの方を対象とした講演会を実施しているので、周知も一部となっており、市全体に向けた取り組みとしての位置付けになっていない。しかし、ご提案いただいたとおり、この取り組みをもっとうまく活用し広げていけないかという視点を改めて所管課へ確認したい。

【市長】空き家予防セミナーについても、新型コロナウイルス感染症予防のため、人数を制限して実施していることが多く、1つのハードルとなっているが、良い取り組みは是非事例として共有できるようにすべきだと思うので、所管へ準備するよう伝える。

【山科氏】資料2の要件に「物件を賃貸借契約する場合は、最短でも2年間は貸し出すこと。」となっているが、最長は何年か。

【事務局（福本）】持ち主と借り主が話し合っで決める。

【菊池氏】補助金の要件は2年以上とあるが、空き家バンクの利用の要件ではないので、まずは、空き家バンクを活用しチャレンジすることが重要である。また、人の出入りが無いと家はどんどん朽ちてしまうので、市民団体やボランティアを活用し、空き家を利活用できるように検討すべきである。

【玄氏】ふるさと納税について、流出額がいくらか。

【事務局（仁科）】流出額が1億4,655万円、受入額が1億3,173万円となっており、差引きマイナス1,482万円である。この差し引き額は前年より6,260万円減っているので、流出額としては前年より抑えられている。実際は、受入額の半分程度は返礼品等の経費代にかかっているため、流出額の方が大きい状況にある。

【市長】商工会が対応する店舗を増やしてくれたことにより成果がでてきていると感じている。

### 3 プレミアム商品券の取組みについて

- ・市長より【資料3】プレミアム付き商品券のチラシをもとに報告

【市長】

- ・ご意見を大変多くいただいている。
- ・本来この目的は、新型コロナウイルス感染症により、商売が落ち込んだ事業者を応援するためだったので、購入対象は市民に限定していなかった。市外の方も含めて市内事業者を応援してもらおうと企画したものであった。
- ・H27に前回プレミアム商品券を発行した時は22,000部発行しており、今回は、35,000部発行した。前回の完売は発売から1週間以上かかっていたため、今回の発行部数は前回の6割増だったことから、当初完売になるか心配していたが、即日完売となった。
- ・国の第3次補正予算による交付金の予定があるという情報もあるので、交付金を活用できる場合は、追加発売の方向で考えている。時期、規模等は未定であるが、公平性を期した販売となるよう制度設計したい。
- ・今回は紙媒体で実施したが、次は電子を中心としたもので検討したい。
- ・逗子市では「元気な高齢者を目指す」等の取り組みへの参加者へ健康ポイントのようなものを発行したり、かつて運用していたボランティアポイント「ZEN」のようなものを実施したりするのであれば、予算の関係もあるが、今後は電子で実施を検討していきたい。

(意見交換)

【山科氏】2,000円の逗子応援クーポン券が届いたが、使用できる店舗の一覧の案内が同封されていなかった。使用者にとって分かりづらいので、分かりやすくしてほしい。

【事務局（仁科）】逗子応援クーポンの利用可能店舗は、資料3に掲載している店舗と共通であり、広報ずし11月号にて全戸配布している。また、市ホームページからも確認できるので、そちらをご利用いただきたい。

【市長】問合せ等は、経済観光課に来ることになっているので、問合せ内容や問合せ頻度等を整理し、対応が必要なものの洗い出しを行い丁寧に対応していく。

【畠中氏】利用できる店舗には、目印となるステッカー等は貼られていないか。

【市長】利用できる店舗には、3種の券のどれが利用できるかポスターが掲示されているほか、ピンク色の風船のようなものが掲げられている。

ぜひ次の制度設計に優先すべき点等ご意見があったらいただきたい。

【山科氏】電子化の方向は良いと思うが、導入に際しては事業者及び利用者に混乱が起きないように制度設計し、全ての人が導入してよかったと思えるものにすべきである。

【市長】使用方法等の問い合わせに対応する部署が必要になる可能性もある。

【玄氏】国にデジタル庁が設立されるのだから、デジタル化は必要であり、市でも専門の部署を設けた方が良いと思う。

【市長】高齢者が多くてもデジタル化にきめ細かく、やさしいまちを目指していきたい。

【筒井氏】 次回電子化にてプレミアム商品券を実施する際は、市民枠とそれ以外の枠を設定した方が良いと思う。

#### 4 企業誘致の取組みについて

・事務局（福本）より（1）platform ZUSHI BIZ の取組みについて、（2）ワーケーションの推進について及び（3）企業版ふるさと納税について説明  
（意見交換）

【山科氏】 戸田建設株式会社と行っている実証実験の施設利用の金額はいくらか。高くないか。

【事務局（福本）】 料金は戸田建設が設定しており、基本的に1日単位で法人利用を対象としている。1日1人あたり6,000円程度である。最低利用人数の設定や利用人数が増えると1人あたりの利用金額が安くなる料金設定としている。料金設定に関しても実証実験の内容としており、適正価格を検討していく予定である。

【菊池氏】 市内の企業は対象にしているのか。

【事務局（福本）】 利用はできるが、ワーケーションでの利用を想定しているので、市外の企業をターゲットとしている。

【畠中氏】 コロナによる状況はものすごいスピードで変化してきているため、ワーケーションの推進も一度見直す必要がある。世の中は職を失うかもしれないという大きな不安感があり、大きなパラダイムシフトの中で逗子市として何が求められているか検討する必要がある。一方、新しい動きが起きているのも事実である。そもそものニーズを把握し、行動する必要がある。

【筒井氏】 戸田建設が運営している「ON/OFFice Zushi」は広報するだけでなく、オンライン予約を可能にする等利便性を高めることも検討するべきだと思う。

・市長より（4）その他について報告

市長が最近面談された企業の方について紹介した。

このような面談を機に企業版ふるさと納税の営業候補先として活用していきたい。

#### 5 その他

・市長より JR 逗子駅周辺等市内交通渋滞緩和について等検討していきたい旨報告した。

#### 6 閉会

・次回の会議開催について

今後の開催については、現在のところ未定のため、改めて事務局から日程調整の連絡をする。

以上